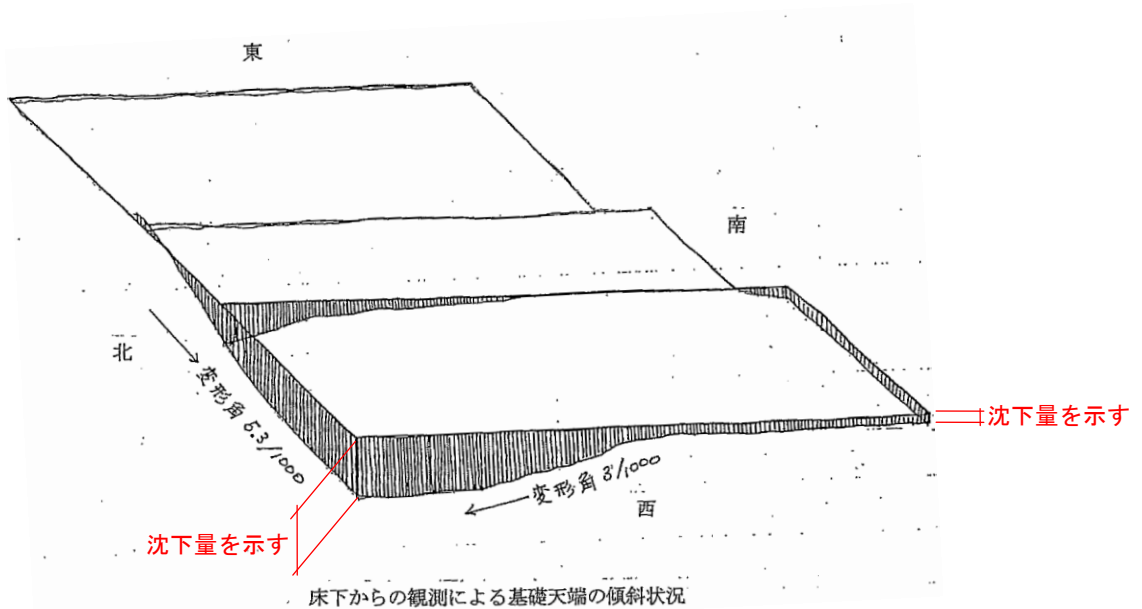


## 基礎の不同沈下

年度	1999年完成(2003年調査)
場所	関東地方
構造	木造枠組壁工法
階数	2階
延べ面積	158 m <sup>2</sup>
用途	一戸建ての住宅

### 瑕疵の特徴

1. 変形傾斜(傾斜が一様でない)タイプの不同沈下。
2. 基礎天端の傾斜状況として、変形傾斜は、ほぼ構造的許容上限値かあるいは上回っている可能性。



(基礎伏図の模式図)

### 解説

地盤調査を行わずに建築し、造成した地盤の地耐力不足で変形傾斜タイプの不同沈下が発生した。地盤が傾斜しているため、基礎高さ(深さ)に変化がある建物。他の問題点として、深基礎では、建物下への埋め戻し土による土圧によって膨らみが発生した。また、基礎に貫通亀裂も発生した。基礎補修方法として鑑定人は、基礎の全面的な撤去・新設が最善であると鑑定した。構造的許容上限値については、小規模建築物基礎設計指針 10.2 節(基礎の修復)2(3)を参照。